

医工連携推進協議会通信

令和 4 年秋季号（令和 4 年 10 月発行）

本協議会 HP に「医工福連携・なんでも相談コーナー」を開設しました！

このたび本協議会では、ホームページに「医工福連携・なんでも相談コーナー」を開設しました。これまで医療機関等から医療機器等に関するニーズを伺ってききましたが、その中には「新規開発するまでもなく、既に商品化されている」というケースが多数あり、個別にその情報を返していました。

このたび、そのスキームを発展的に整理し、医療・衛生関連商品、福祉・介護関連商品の開発販売等について、誰でも・いつでも・なんでも相談できるコーナーを設けました。

本協議会の今年度事業計画に掲げる「医工福連携」を推進するため、医療機関のみならず、福祉施設、介護施設等からの相談・問い合わせも大歓迎です。

各賛助会員の事業活動に関し、「こんな商品がないかな」、「商品開発に協力してくれる企業を探している」、「自社製品の販売方法を相談したい」等々、なんでもお気軽にご相談ください。

1. 相談対象者（本協議会の賛助会員に限りません。）

医療関係者・福祉介護関係者・一般企業関係者 等 どなたでも結構です。

2. なんでも相談の手順

別添「医工福連携・なんでも相談シート」に必要事項を記載の上、本協議会事務局にメール、郵送又は FAX でお送りください。相談シートは、本協議会のホームページからダウンロードすることもできます。

① 事業者名は、相談者の所属する事業者名（病院名・施設名・企業名など）を記入してください。

② 相談タイトルは、相談の概要が分かる程度に書いていただければ結構です。

（〇〇製品探し、〇〇連携希望、〇〇相談など）

③ 相談内容は、特にフォームはありませんので、ご自由に記入してください。

- ・ 事業活動の上での困り事
- ・ あったらしい製品、部品、材料、システム等の調査、開発などの要望
- ・ 自社製品の企画支援、開発支援、販売支援等
- ・ 医療機関、福祉介護施設、企業等の紹介
- ・ その他医工福連携に関する事項

④ 相談に必要な資料（写真、図面、帳票等）があれば、添付してください。

3. 本協議会の対応

① ご連絡をいただいたときは、当方の担当より電話又はメールで、必要な問い合わせ、聴き取り等をいたします。

② ご相談いただいた内容につきましては、必要な調査・検討を行った後に、当方から連絡いたします。

③ この相談・問い合わせ及びその回答に関し、相談者に対して、何らの費用負担を求めることはありません。ただし、相談に必要な資料作成費用、通信費用等については相談者にご負担ください。

④ お送りいただいた「医工福連携・なんでも相談シート」の内容は、相談者の許可なく公開しません。

お気軽に、なんでも
ご相談ください！



【ビジネスマッチング商談・展示会 2022 in 松江】開催！

「山陰（鳥取・島根）最大級のBtoBイベント！」ものづくり企業を中心に、圏域内外から幅広くエントリーを募り、企業間の取引拡大・連携強化を図る山陰最大級の商談・展示会が令和 4 年 10 月 13 日（木）に「くにびきメッセ大展示場（松江市）」で開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ここ 2 年間はオンライン開催でしたが、3 年ぶりの対面式での開催となった今回は、エントリー 273 社（圏域内 178 社）、展示ブース出展 60 社、商談 479 件の参加がありました。

なお、本協議会賛助会員のエントリーは 20 社、展示ブース出展は 9 社あり、そのうち（株）カノンの展示ブースでは、本協議会での開発商品「エマークイックプロ」等を紹介されました。



中海・宍道湖・大山圏域市長会に「マスクサポート」を寄贈 賛助会員：(株)ケイケイ

本協議会の賛助会員である株式会社ケイケイから、中海・宍道湖・大山圏域市長会に対し、「マスクサポート」が寄贈され、7月11日（月）午前11時から米子市役所で寄贈式が行われました。

同社内藤取締役会長の「島根県東部・鳥取県西部において新型コロナウイルス感染が急増している現状に鑑み、呼吸や会話が楽になるマスクサポートを提供することで、市民対応に当たられる5市の職員の皆さんを応援したい」との思いから実現したもので、市長会を構成する5市（米子市・境港市・安来市・松江市・出雲市）分各100個（計500個）が市長会会長の伊木隆司米子市長に手渡され、伊木会長からは感謝状が贈られました。

5市では、それぞれ窓口部署・健康対策部署・福祉施設・文化スポーツ担当部署等に配付され、来客対応や保育現場、イベント等において活用されています。

本協議会では、このような開発商品の広報宣伝・報道発表・販売促進活動等についても支援を実施しています。ご希望される案件がありましたら、お気軽にご相談ください。



(株)ケイケイ内藤会長と市長会伊木会長(米子市長)

可能性、その先にある未来へ「京都医工商連携セミナー・展示会」参加報告

令和4年9月30日（金）に京都リサーチパーク（京都市下京区）で開催された「京都医工商連携セミナー・展示会」に本協議会から2名が参加しました。この会は、NPO 法人医工商連携開発機構（楠本雅章理事長）が主催され、ヘルスケア機器の開発・製造から販売へ具体的な道筋を考えるセミナー・展示会です。

- 基調講演 「ICON 設立から未来へ」
NPO 法人 ICON（集中治療コラボレーションネットワーク）
理事長 橋本悟氏（医学博士）
- 企業講演 「私達の医工商連携／成功事例として」（順不同）
株式会社旭東（大阪市）
トキトレーディング株式会社（三田市）
株式会社コムラ製作所（八尾市）
株式会社ステリテック（加須市）



■ セミナー参加者 約 50 名

■ 出展企業 11 社（大阪 6 社、兵庫・埼玉・東京・福島・鳥取各 1 社）

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、およそ3年ぶりの県外でのセミナー・展示会への参加になりました。

なお、本協議会からは、賛助会員の（合同）放射線測定システムが開発された「胃エックス線検査前壁二重造影・胃マクラ」が出展され、来場者の注目を集めていました。



【事務局からのお知らせ・お願い】

賛助会員企業の皆様へ：

- ・紹介ページの内容に変更等がありましたら、メールで変更内容をお知らせください。
- ・まだ紹介ページを作成されていない賛助会員は、随時申込みを受け付けています。
- ・製品、技術紹介ページも引き続き募集していますので、情報提供をお願いします。

構成団体の皆様へ：

- ・本協議会の活動推進のため、医療機関、福祉施設、介護施設等からのニーズを常時収集しています。紹介いただける施設等がありましたら、ぜひお知らせください。
- ・今年度の事業計画の一つである「医・工・福連携」を推進するため、賛助会員に加入いただける医療機関、福祉団体等がありましたら、ぜひ事務局にご紹介ください。

〈担当〉事務局：大江淳史・山根修 アドバイザー：眞野博光
TEL：(0859)57-5226 Email：keniki-ikou@sea.chukai.ne.jp

情報募集中！

HP・QR

